



ODA

ほつこう しゃかいふくしほうじんおきなわけんしんたいしょうがいしゃふく へんしゅう ほくぶじりつせいかつ せんたー きらら
発行：社会福祉法人沖縄県身体障害者福祉協会／編集：北部自立生活センター 希輝々
おきなわけんなごしおのみなみ ほんか えん かいひ ふく
〒905-0015 沖縄県名護市大南4-8-32-1／頒価100円 (会費に含む)
TEL/FAX: 0980-54-1559 e-mail: kirara20030501@yahoo.co.jp



ほくぶじりつせいかつ せんたー きらら 北部自立生活センター 希輝々



やんばらぁ～ねっと



ふいーるととりっぴいんみやこじま
H24.6.8～6.10 フィールドトリップin宮古島

もくじ

やんばらあ～ねっと だい 20 号



- びー P2 暑中お見舞い申し上げます
- びー P3 第8回フィールドトリップのお知らせ
- びー P4.5 フィールドトリップin宮古島
- びー P6 「車いすの花嫁」高良美佐代さん講演会
- びー P7 タスキン研修生、ポパさんとリスワンさん
- びー P8 伊江島「土の宿」設立30周年記念講演会
- びー P9 JIL総会、研修会in仙台
- びー P10 第34回海洋博公園花火大会
- びー P11 やんばるバリアフリー情報
- びー P12 すたっふのひとりごと/希輝々の所在地案内/正会員、賛助会員の入会および寄付のお願い

暑中お見舞い申し上げます

暑々厳しき折りますますご健勝のことと

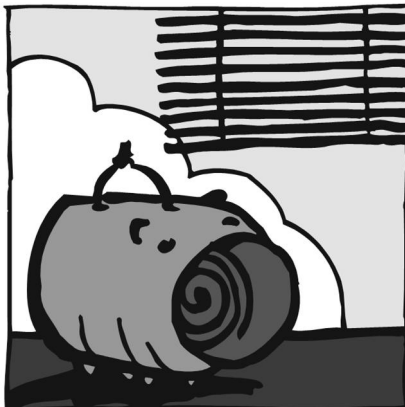
お慶び申し上げます

時節柄くれぐれもご自愛くださいますよう

お祈り申し上げます

平成二十四年 盛夏

北部自立生活センター 希輝々 スタッフ一同



第8回フィールドトリップILPのお知らせ

おきなわ あつ ひ みな す
沖縄は暑い日がつづいていますが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？

なつ うみ うみ ばーべきゅー かいすいよく ちぎょ ほうりゆう すいかわ
夏といえば海！！海でバーベキュー！！海水浴！！稚魚の放流！！スイカ割り！！
だよね！！

とうせんたー ことし ふいーるどとりつ ぶあいえるびー きかく しやかいさんか うみべ
当センターでは今年も「フィールドトリップ I L P」を企画しています。社会参加を、海辺で
ばーべきゅー れくりえーしょん いっしょ たの たの み にんげんかんけい こうちく
バーベキューやレクリエーションと一緒に楽しみながら、楽しみから見つける人間関係の構築を
もくてき おこな
目的とし行います。

みんな なつ いっしょ たの
皆と夏と一緒に楽しんでみませんか？

にち じ がつ にち ど
日 時 9月8日(土) 10:00~16:00
ば しよ な ご し せい き もりび し ち て る
場 所 名護市21世紀の森ビ | チ TEL:54-3301
さん か ひ えん しよくひ
参加費 1,000円(食費)とさせていただきます。
だ す きん かんけいしや こども がくせい むりよう
(ダスキン関係者、子供(学生)無料)

ていいん
定員 100名

もう こ しめ き がつ にち げつ
申し込み締め切り 8月20日(月)

しゅ さい ほくぶじりつせいかつせんた | きらら
主 催 北部自立生活センター | 希輝々

きよう さい だ す きん おきなわえり あじつこういんかい
共 催 ダスキン沖縄エリア実行委員会

きよう りよく おきなわけんさいばいぎよぎょうせんた | ふくしかんけいきかん
協 力 沖縄県栽培漁業センター | 福祉関係機関

じりつせいかつせんた | いるか じりつせいかつせんた | まんた かぶしきおおな
自立生活センター | イルカ 自立生活センター | まんた (株) 大名



チャーターボートで海でも陸でも楽しめます♪



ことし おお かた で あ たの みんな いっしょに たの
今年も多くの方との出会いを楽しみにしています！！皆と一緒に楽しみましょう！！
きらくにさんかください！(*^_^*)！

さんか きぼう かた ふめい てん たんとうしや きがる と あ くだ
*参加ご希望の方や、不明な点がございましたら、担当者まで、気軽にお問い合わせ下さい。

ほくぶじりつせいかつせんた | きらら
北部自立生活センター | 希輝々

しゅびんばんごう おきなわけん な ご し おおみなみ

〒 905-0015 沖縄県名護市大南4-8-32-1

てる ふあつくす
TEL/FAX : 0980-54-1559

たんとう あらかき なるせ
担当：新垣、成瀬

フィールドトリップin宮古島



昨年9月にCILまんだのメンバ|が本島を訪れ、希輝々のメンバ|と交流したり、バリアフリー|チェックをしたりと、とても有意義な時間を一緒に過ごす事ができました。「今度は宮古で会いましょう!」と約束を交わし...遂にその日がやってきました!!



あ、あちい...(>_<)

宮古に着くとまずはCILまんだの事業所にお邪魔しました。事業所に着くと当事者のゆみこさんが介助者と共に調理中でした。CILまんだでは当事者同士で昼食の当番を決めて、メニュー決め、買い出し、調理のすべてをその人が担当するのだそうです。この取り組みはとても良いものだなと感じました。一人暮らしをしていると大抵の人がレパ|トリ|に悩んだり、ワンパタ|ンにな



事業所にてそれぞれの自己紹介の様子



りがちだと思うのですが、このような機会があると、実際に作って多くの人に食べてもらうことで、評価してもらえたり、他の人が作る料理を参考にできたりして、楽しみながら学べるのではないかと思います。希輝々でも取り入れてみたいです。

その日の夕方は希輝々 & まんだのメンバ|の交流会!!料理やお店の方の余興を楽しみながら、皆でワイワイと楽しい時間を過ごしました。

2日目はシュノ|ケリング体験です。そのビーチではまんだのメンバ|の方がよくシュノ|ケリングをしているということで、スタッフさん達がとても親切に対応してくださいました。初シュノ|ケリングのメンバ|が大勢いましたが、皆とても楽しんでいました。私は当初、障害のある方にはこういう海での遊びは難しいんじゃないかな?と思ってい

ましたが、希輝々に入ってからフィールドトリップでチェアボードを使用して楽しむ方の姿や、今回のビーチのスタッフさん達に協力してもらって楽しむ姿を見て、今までの考えは間違っていたのだと感じました。そして、日頃 正樹さんがよく言う「当事者もっと外に出ないと」という事は、障がい者は出来ない事が多いと感じている人達の考えを変える為に大切なことであると改めて実感することができました。

3日間はあっという間に過ぎ、希輝々のメンバーは名残惜しさを感じながら本島へと帰りました。

楽しみつつもそれぞれが色々なことを学び、感じた3日間だったと思います。

楽しい時間を提供していただいたCILまんだの皆様はこの場を借りてお礼を申し上げます。

ありがとうございました<m(_)>



シュノーケリングの様子



パギーに引きずられて移動中...



東平安名崎にて



たくさん泳いだ後はお腹が空きます(@_@:)



もぉ~!!!



牛の角でネックレスやストラップを作らせてもらいました♪

くるま はなよめ たから み さ よ こうえんかい 「車いすの花嫁」高良美佐代さん講演会

今回、沖縄市で行われる高良美佐代さんの講演会に行ってきました。会場には沖縄市近辺の方や、福祉関係の方など、合わせて50名位の方が来ていました。美佐代さんは、以前、希輝々で代表をしていたのですが、結婚、出産とともに事務所から離れ、新しく「車いすの花嫁」という事業所を立ち上げ、現在、ユニバ|サルブライダルアドバイザーとして、ユニバ|サルブライダルの啓発事業をされています。



「車いすの花嫁」代表 高良美佐代さん

講演会の内容ですが、二十歳に全身性エリテマト|デスを発症して、長期間における多量のステロイド接種による副作用で身体と視覚に一級の障害を持ってしまいました。この時の苦しみ、父親の温かい優しさや親としての厳しさなどについて話してくれました。そして、北部自立生活センター|希輝々の設立から結婚、ハイリスクの出産をして現在に至るまでの実話を聞きました。

その中で、希輝々を設立してからの思いは現在も変わらず、障害を持っている方の結婚や出産の嬉しさなど、様々な部分で対等な立場に立ち、話を聞いたり、自立の為に相談や、自立を始めようとする障害者の精神面のサポートや自己信頼の回復、人間関係の構築の事を今でも続けているんだなあ、改めて感心させられました。

講演会も良かったのですが、プログラムの中では、ケントミのミニコンサートもあったのですが、さすがに全中学相撲大会2年連続優勝されているだけあって、三味線を弾く音の良さは、ジーンとくるような、どっしり心に焼き付けられるような「響き」をされていました。やっぱり三味線の音、いいですね。最近、ケントミファミリー|メンバ|の人数が増えているみたいですね。障害を持っていても、いつまでも勇気と感動を、三味線の「響き」で、また聴かせて下さい。

美佐代さんとは、以前職場にいた時よりも遠く離れてしまった事で、関係性はあまりとれなくなってしまったのですが、また、講演会や協力出来る事があつたら、是非、声をかけて下さい。



会場内の様子



ケントミファミリーの素晴らしい演奏

だすきんけんしゅうせい ぼぼ りずわん ダスキン研修生 ボパさんとリズワンさん

だすきん 愛の輪のアジア太平洋障害者育成事業で研修生として沖縄に来ていたボキスタン、ラホール出身のリズワンさんと、カンボジア、プノンペン出身のボパさんの成果発表会 & 終了式を応援する為に、希輝々とイルカから、計3名で参加してきました。

研修生は、日本に来て、日本語の勉強から障害者関係の各センターの活動の取り組みなど、様々な視点からとらえられた10カ月だったと思います。



はつひょうちゅう りずわん (写真上) と
ぼぱさん (写真下)



初めに会ったのは、リズワンさんは2月、ボパさんは3月にお会いしたのですが、あの時よりも日本語や冗談が上手になっていました。初めの頃は、まだ会話がちゃんと伝わっているのかどうかでしたが、あの時よりも日本語が達者になっている姿や、ひとつ成長した姿を見て、日本での研修は成功だったのではと感じています。

今から母国に帰って、日本と違う制度の格差があり、障害者の生活の大変さがあると思うのですが、ここ日本で学んだ事を種として、母国に帰って、種が実になるような障害者運動ができる事を期待したいと思います。

この後も関係性が続いていけるように、何か困った事があれば、日本からでも伺いたいの、どうしているのか連絡のやり取りをしたいと思います。

愛の輪のアジア太平洋障害者育成事業は、他の企業が真似のできないような海外支援や、日本の国を良くする為に行なわれ、愛の輪の理念でもある「何かお手伝いをしましょうか?」という事業そのものだと、とても感動させられ、勇気を持たされました。



い え じ ま つ ち や ど そ う り つ し ゅ う ね ん き ね ん こ う え ん か い 伊江島「土の宿」創立30周年記念講演会

わたしの食生活は大変みだれています。カップめん、コンビニ等の市販のべんとう、レトルト食品、ファストフード（とくにすきやの牛丼!）、おまんじゅう等々、決して毎日毎日こればかり食べているというわけではありませんが、これらの食品にかなりの割合でお世話になっていることはまちがいありません（しかも不規則な時間に）。食べることは生きることそのもの、食べ物こそが自分自身の血肉になって自分をつくっているのです。食べることをいかにげんにしていることは、生きることはいかにげんにしていること！あたまではそうわかっているつもりですが、ついつい時間がない（ような気がするだけ？）ことを言い訳にして、食事の時間を一番に削っておろそかにしてしまっています。

5月19日土曜日、名護市労働福祉センターにおいて、食べることについて、とくに野菜の大切さについてのとても楽しい講演会が開かれました。「土の元気、野菜の元気、人の元気」と題されたこの講演会は、講師に長崎県佐世保市の「大地といのちの会」代表の吉田俊道さんをおむかえして、伊江島のバリアフリー民宿「土の宿」の設立30周年を記念して行なわれました。

講師の吉田さんは、生ごみを利用した有機農業に取り組みでいて、その独自の農法とアイデアを全国に広める活動をしています。そして、そのお話の内容は、季節の旬の野菜を食べることの大切さ、また、普通にスーパーで売られているものと、生ごみを利用した有機農法で育てたものとは、美味しさ、栄養、元気さなどの点においてまったく違うこと、そして、その野菜を育てる土のなかで、微生物や菌がいかに大事な働きをしているか、ということなど、とってもためになるお話がいっぱいでした。そして野菜のお話はいつしか現代人の食べ物に対するゆがんだ安全志向の間違いや、汚いものも含めた「自然」と切りはなされた現代人の生き方への疑問へと広がっていきました。野菜の話聞いていたはずなのに、いつのまにか、生きること、死ぬこと、いのちの循環、いのちの不思議といった大きなテーマと話がつながっていて、まるで大変ありがたいお坊さんのお話を聞いているような気持ちになりました。

さいごにプランターを使っての生ごみを利用した土作りの実践も行なわれ、大変勉強になった講演会でした。

久しぶりにお会いした主催者の木村浩子さんもとてもお元気な様子でした。またお会いできてよかったです。ご自身の民宿設立の30周年記念としてこのような講演会を企画された浩子さんの関心の広さや好奇心の強さはすごいなあと思いました。ありがとうございました。



会場内の様子



木村浩子さんのご挨拶



吉田さんの楽しいトーク♪



土づくりの実践の様子



じる そうかい けんしゅうかい いんせんたい JIL総会、研修会in仙台



じる そうかい けんしゅうかい さんか う みやぎけん おとず さくねん がつ はつせい じしん
JILの総会と研修会に参加するため、生まれてはじめて宮城県を訪れました。昨年3月に発生した地震
つなみ だいさいがいらい きかい いちどおとず おも
と津波の大災害以来、機会があればぜひ一度訪れてみたいと思っていました。

こんかい せんだい そうかい おこ きかい せんたいい そうじつはや せんだいい つなみ ひがい おお
今回は仙台で総会が行なわれるせつかくの機会でしたので、数日早く仙台入りして、津波の被害の大
えんがんぶ おとず しない しあいえる けんがく はなし
きかった沿岸部を訪れたり、市内にあるC I Lを見学させていただいてお話をうかがった
りすることができました。やはり、テレビの映像で出来事を知ることと、時間をかけてでも現地に行つて、
ぼしよ くうき なま こえ き じょうほう しゅるい ちが おも
その場所の空気のなかで生の声を聞くのとは情報の種類がぜんぜん違うと思いました。

せんだいえき いしのまき でんしゃ たう お た けしき えんえん つづ
仙台駅から石巻へむかう電車のみどころは、田植えが終わったばかりの田んぼの景色が延々と続いて、
すいめん かがや たいへん こうだい でんえんふうけい み ひとびと
水面がきらきら輝いて大変きれいでした。あれだけ広大な田園風景をはじめて見ました。そして、人々
せいかつ けはい まった こうだい あち か いしのまき えんがんぶ けしき いっしょうわす
の生活の気配の全くしない、広大な空き地と化してしまった石巻市の沿岸部の景色も、きつと、一生忘
れることができないと思います。

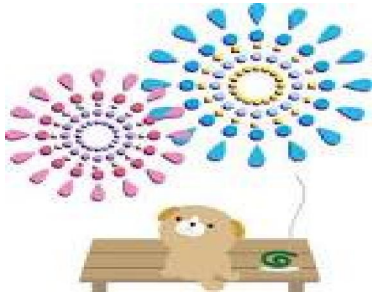
けんしゅう にちめ ひさいち しょうがいしゃ じょうきょう きろく えいが み じつさい げんち しえんかつどう
研修1日目は、被災地における障害者の状況を記録した映画を見たり、実際に現地で支援活動
おこ ひさいちしょう しゃせんたー かがた はなし き
行なっている被災地障がい者センターの方々の話を聞いたりしました。

えいが おも げんぼつじ こ ふくしまけん しょうがいとうじしゃ しえんしゃ お
映画は主に原発事故のあった福島県における障害当事者や支援者のすがたを追った
どき めんたりー げんぼつじ こ す な ぼしよ はな え ふじょうり しょうがいとうじしゃ
ドキュメンタリーでした。原発事故により住み慣れた場所を離れざるを得ない不条理や、障害当事者し
かた ひさいせいかつ くる ぎょうせい しえん ぐらう ぐたいてき
か語るのできない被災生活の苦しみ、行政による支援のとどかないなかでの支援者の苦労や具体的
くふうなどが、とても丁寧に描かれていました。映画を見て、やはり、そもそも人間にとって原子力と
えねるぎ ーなに こんぼんてき かんが え じんげん ちい だうぶつ
いうエネルギーは何なのかという根本的なことを考えざるを得ませんでした。人間という小さな動物に
たい げんしりよく えねるぎー きよだい かしょう じぶんじしん こんかい じ こ お
対して、原子力のエネルギーはあまりにも巨大で過剰すぎます。そしてまた、自分自身、今回の事故が起
こるまで、原発についてあまりにも無関心すぎたとも思いました。

えいが みやぎけんない かくひさいちしょう しゃせんたー だいしんさい ほつせい とうしよ
映画のあと、宮城県内の各被災地障がい者センターのみなさんから、大震災が発生した当初にそれ
げんち たいけん ごと やく ねんかん かつどう ほうこく せんたー こんかい
ぞれが現地で体験したことと、その後の約1年間の活動の報告がありました。どのセンターからも、今回
だいしんさい おお ひがい げんじつ う い
の大震災によって、これだけの大きな被害もたらされたにもかかわらず、その現実を受け入れて、これ
しょうがいしゃえん まえむ はなし き
からの障害者支援にどのようにつけていくかという前向きな話を聞くことができました。

けんしゅう かめ じるせつりつ げんざい ねんかん れきし ふ かえ こんご しょうがいしやうんどう
研修2日目は、JIL設立から現在までの21年間の歴史を振り返り、今後の障害者運動につなげてい
しんぼじょうむ ひら むかんしん ぼねりすと にほん しょうがいしやうんどう れいめいき にな すじがはいり
くためのシンポジウムが開かれました。パネリストは、日本の障害者運動の黎明期を担った、筋金入の
しにせじりつせいかつしよくにん かがた くに かいじよさーびす まった じょうきょう
老舗自立生活職人のような方々でした。まだこの国に介助サービスの全くない状況から、どのよう
しょうがいとうじしゃ じりつせいかつ しそう めぼ げんざい しくく たいへんきやうみぶか
に障害当事者に自立生活の思想が芽生え、現在のような仕組みをつくりあげていったのか、大変興味深
はなし げんざい りやう こうきやうこうつうきかん こうきやうしせつ ぼりあふりー せつび
いお話でした。現在あたりまえのように利用している公共交通機関や公共施設のバリアフリーの設備
じりつせいかつせんたー だいせんばい ひつしうんどう か と けつか れきし
なども、かつて自立生活センターの大先輩たちが、必死で運動をして勝ち取った結果だという歴史を知る
ことも、特に若い人たちにとってはとても大切だと思いました。

かめ ごぜん そうかい ごご しあいえる めざ だい じりつせいかつせんたー りねん
3日目は午前で総会と、午後から、「ほんまものC I Lを目指して」と題して自立生活センターの理念
たいせつ はなし き かがん せんだいけんしゅう お たび けんしゅう たいへんきやう
の大切さについてのお話を聞き、3日間の仙台研修を終えました。この度の研修も大変勉強になり
ました。



はなび 花火を見たぞ



だい かいかいようはく き ねんこうえんはなび たいかい 第34回海洋博記念公園花火大会



はなび
花火を待ちわびているわれら

こんにちは。平成24年7月14日土曜日にみんなで第34回海洋博記念公園花火大会(海洋博公園サマーフェスティバル2012)に行ってきました。皆で外出するのは久しぶりでとても気持ちのいいものですね。お祭りの楽しみといえば、焼き鳥やとうもろこし、お好み焼きや焼きそば等の屋台のにおいにつられたり、綺麗な浴衣のお姉さんに見とれたり普段の生活では味わえない楽しさ一杯ありますね。暑い中飲む生

ビールも最高ですね。しかし、なんといっても花火です。花火の綺麗さにみんな見とれて夏の暑さなんか忘れて見入ってしまいました。

また、私たちの住む名護市でも7月28・29日に第35回名護夏祭りがありますのでとても楽しみです。2日間もやるので楽しみ2倍です。楽しむぞ！。機会がありましたら名護夏祭りの出来事も報告させていただきます。





ぼりあふりーじょうほう やんばるバリアフリー情報



ちやうさいん ありめ きんじやう
調査員:有銘かおり、金城さやか

場所:ナゴパイナップルパーク

じやうしょ ゆうびん おきなわけん なごしひいまた
住所:〒905-0005 沖縄県名護市為又1195

でんわ
電話:0980-53-3659

えいぎやうじかん
営業時間:9:00~18:00

ていきゅうび ねんじゅうむきゅう
定休日:年中無休

ちやうしゃじやう あり くるまいすゆうせん だいあり
駐車場:有(車椅子優先2台有)

くるまいすせんようといれ でくちふきん かしょあり
車椅子専用トイレ:出口付近に1カ所有

りやうきん おとな ちやうがくせいじやう えん しやうがいてちやうていじ ほんがく
料金:大人(中学生以上)600円※障害手帳提示で半額

こども しやうがくせい えん しやうがくせいみ まんわりやう
子供(小学生)300円 ※小学生未満無料

だんたい めいじじやう ばーせんとわりびき
団体15名以上10%割引



なごばいなっふるばーくからあびーる ナゴパイナップルパークからのアピール

えんない ぼりあふりー ばいんばたけ せんやう かーと さんさく かーと いじやう ごんなん きやくさま くるま
園内はバリアフリーになっております。パイナップル畑は専用のカートでも散策できますが、カートへの移乗が困難なお客様は車いすのままでも
さんさく くるま りやう きやくさま かぎ はいりよ にゅうじやう さい うけつけ もうつ
散策していただけます。車いすをご利用のお客様にはできる限りの配慮をいたしますので、入場の際に、受付にてお申し付けください。
ばいんばたけ ほか てんじかん ばいんこうじやう わいんかん み みやげびん すじゅーす かしけしやうひん
パイナップル畑の他にも、展示館、パイナップル工場、ワイン館などの見どころがございます。お土産品としては、お酢、ジュース、お菓子、化粧品、
せつけん せび かもと にほんはつ ばいんあつふるわいん しん せび
石鹸などがございますので、是非、お買い求めください。また、日本初のパイナップルワインの試飲もできますので、是非、どうぞ。

調査員のコメント

しーえむ ばいんあつふるばーく い えんない のほくた さかみち おお いどう すこ たいへん ばいんばたけ
CMでもおなじみのパイナップルパークへ行ってきました♪園内は上り下りの坂道が多いので移動は少し大変ですが、パイナップル畑や
おりじなるわいん こーなー ばいん ししよくこーなー みどころ たくさん ばいんあつふるばーく おりじなるくっす たくさん
オリジナルワインのコーナー、パイナップルの試食コーナー・・・など見所が沢山ありました(*^^*)パイナップルパークのオリジナルグッズも沢山あり、
よそういじやう たの なごくきかい いちどたよ くだ
予想以上に楽しむことができました◎名護に来る機会があれば、ぜひ一度立ち寄ってみて下さいね v(*^^*)v

へんしゅうこうき 編集後記：すたっふのひとりごと

うえま びし
上間 直

はじめまして！今年7月から希輝々で働かせていただいているおっさんの上間直と申します。

この仕事に携われて、まだ今日で4日目で正直、右も左も分からないことだらけです。

3日目に初めて障がい者の方の介助を経験したのですが、その介助と言うのは買い物でした。障がい者の方は車いすなので、車いすに乗ったまま乗れる希輝々の7ゴン車に乗っていただいて電化製品店に向かいました。

そのお店で店員さんと一緒に相談しながら商品を選んでいる障がい者の方は楽しそうに見えました。あとで希輝々スタッフさんに聞いてみるとひとり暮らしをはじめるといことでした。それで楽しそうに見えたんだと思いました。

健全者と同じような社会生活を障がい者の方に提供している希輝々スタッフはすばらしいです。

私も早く一人前になれるように日々精進してまいります。



ほくぶじりつせいかつせんたー きらら 北部自立生活センター 希輝々の

しよざいちあんない
所在地案内

〒905-0015

おきなわけん な ごし おおみなみ
沖縄県名護市大南 4-8-32-1

てる ふあつくす
TEL/FAX 0980-54-1559

いーめーる
e-mail : kirara20030501@yahoo.co.jp



せいかいいいん さんじょかいいいん にゆうかい きふ ねが 正会員、賛助会員の入会および、寄付のお願い

しーあいえる きらら せいかいいいんおよ さんじょかいいいん せつきよくてき さんか つの
CIL希輝々では、正会員及び賛助会員の積極的な参加を募っています。

とうかいかつどう こうどうはんい ひろ とうかい しゅし さんどう
当会活動のさらなる行動範囲を広げるためにも、ぜひとも当会の主旨にご賛同い

ただき、きょうりよく ねが
ただき、ご協力をお願いいたします。

かいひ せいかいいいんねんかん えん さんじょかいいいん ねんかんひとくち えん
会費は、正会員年間5,000円、賛助会員は年間一口5,000円です。

きふきん ずいじら つ みなさま あたは こごし きょうりよく ねが
寄付金は随時受け付けています。皆様の温かいお志とご協力をお願いいたします。

ふりこみさき ゆうびんこうざ
●振込先 郵便口座 17080-8-347321

めいぎ ほくぶじりつせいかつせんたー きらら
●名義 北部自立生活センター 希輝々